

## 安全・安心な学校施設の整備を進めています

近年、東日本大震災や昨年4月の熊本地震のような大きな被害を伴う地震が発生し、そのたびに避難所となる公共施設、特に学校施設の被害状況が大きく取り上げられて話題となっています。学校施設は未来を担う子どもたちが集い、生活する場であるとともに、災害時には避難所としての役割も果たすことから、安全性の確保は極めて重要な課題です。

市では、安全・安心な学校施設の整備に重点を置き、これまでも耐震化や非構造部材の耐震対策の推進について最優先に取り組んできました。市内の小中学校の耐震化や体育館の耐震対策の取り組みを、次のとおり進めています。

### 【飯岡小体育館 非構造部材の落下防止対策】



改修前



改修後

## 第7回 みんなの学校自慢



みんな仲良し  
琴田っ子

琴田小6年 崎山 美咲さん(左)  
ひより  
渡邊 日和さん(右)

琴田小は小さな学校ですが、そんな琴田小の自慢できる場所はたくさんあります。

一つ目は学年を超えて仲が良いことです。各学年1クラスで人数があまり多くないため「なわとび大会」の縦割り班での活動や兄弟学年での水泳学習、陸上部や音楽部での活動と関わりが多くなります。互いに助け合ったり、協力し合ったりすることで、信頼関係が生まれ親しくなります。また月に一度ある「ふれあい昼休み」でも、学年関係なく楽しく遊んでいます。

二つ目は地域の皆さんとの関わりが多いことです。学校行事はもちろんですが、上学年になると総合的な学習

の時間に、近隣に住むおじいちゃんやおばあちゃんと交流する時間があります。落語を発表したり、手作りコースターをプレゼントしたり、話をしたりと楽しい時間を過ごします。私たちが訪問した際に涙を流し喜んでくれた方がいたことは、今でも忘れられません。

私たちは学年を超え、みんなが笑顔で仲が良い、この琴田小がとても大好きです。残りわずかな小学校生活、大好きな琴田小で過ごせることをうれしく思います。



「なわとび大会」に向けて縦割り班での練習